

にいがた労福協

ライフサポートセンター

No.65 2026年4月15日発行

一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会

〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2
Tel 025-281-0890 Fax 025-281-0891
URL <http://www.niigataken-rofukukyo.com/>
発行責任者 石本伸二

助けてという勇気を

「もう一つの奨学金説明会」をオンライン開催



3月6日(金)、新潟県奨学金ネットワーク主催による、奨学金返済に困った際のアドバイス等を目的とした「もう一つの奨学金説明会」がオンラインで開催され、30名が参加しました。

講師には、奨学金問題対策全国会議の共同代表を務める岩重佳治弁護士をお招きし、主に次の内容についてご報告いただきました。

- ◆日本の学費は高く、現在では2人に1人が奨学金を利用している。
- ◆非正規雇用や病気、ひとり親世帯など予期せぬ事情で返済が滞ると、生活が圧迫され、結婚・出産の断念や過酷な労働環境からの離脱困難といった深刻な事態を招いている。
- ◆「借りたものは返すのが当たり前」という自己責任論が、救済を求めることを躊躇させる要因となっている。
- ◆返済猶予、減免、消滅時効、自己破産などの公的な救済策があるものの、十分な周知がされておらず、利用要件も厳しい。制度に対する誤解や偏見もある。
- ◆親族を連帯保証人とする個人保証制度は家族全体を巻き込むリスクがあり、周囲への遠慮から無理な返済を続ける若者が多い。

講演を通じて岩重弁護士は、授業料減免の拡大や給付型奨学金の拡充、個人保証の廃止と機関保証への一本化といった制度改善の必要性を訴えるとともに、「困った時は一人で悩まず、弁護士や支援団体に相談してほしい。」と呼びかけました。

なお、当日の講演内容はYouTubeチャンネル「新潟県労福協TV」にて公開しています。

公益財団法人
新潟ろうきん福祉財団
とは?

〔新潟ろうきんが創立30周年を機として設立した団体で、広く市民の暮らしの向上と福祉の増進に役立つことを目的に、NPOの団体等への助成金交付や福祉に関する活動、学生への奨学金給付など、さまざまな事業を展開しています。〕

2026年度 新潟ろうきん福祉財団 返済不要 高校奨学生募集!

高校生を対象とした給付型奨学金

募集人数	奨学金給付額
原則として、応募資格の条件を満たす 応募者全員を採用	月額 1万円 高校3年間の給付 総額 36万円

新潟県民の子どもにして、新潟県内の高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部、県内に本校やセンター等の拠点がある通信制高校を含む)に2026年度進学した生徒(新一年生のみ)で、次の条件を満たす方。

【家族収入・所得(以下「家族収入等」という)が以下の方】

- 家族収入等が給与収入の場合………年間の収入金額が180万円以下
- 家族収入等が事業・営業所得の場合………年間の所得金額が50万円以下

※家族収入等は高校生本人の父母の合計となります(祖父祖母の収入は含まれません)。※家族収入等の対象は給与収入または事業・営業所得となります(配当所得は含まれません)。

応募資格

2026年6月15日(月)から7月15日(水)

応募書類

- 1 奨学生願書兼推薦書(高等学校等からお受け取りください。協賛ホームページからもダウンロードできます。)
- 2 年間の給与収入、事業・営業所得の確認書類
 - 給与収入の場合………勤務先発行の令和7(2025)年分の源泉徴収票(写で可)または市町村発行の令和7(2025)年分の所得・課税証明書のいずれか
 - 事業・営業所得の場合………市町村発行の令和7(2025)年分の所得・課税証明書

※1,2の書類は、令和7年4月30日までの締切日を考慮し、必ずお早めにお届けください。

応募方法

必ず、在学する高等学校等を経由して申し込みください。

お問い合わせ先

公益財団法人
新潟ろうきん福祉財団

Tel:025(288)5273
FAX:025(288)5274

詳しくは協賛ホームページをご覧ください

もう一つの奨学金説明会

～(独)日本学生支援機構の貸与奨学金制度を中心に～

奨学金問題対策全国会議共同代表
弁護士 岩重佳治

第1回 地方労福協会議 (中央労福協主催)

2026年2月18日(水)、東京都千代田区の日本教育会館において「第1回地方労福協会議」が開催されました。本会議には全国47の地方労福協役員が出席し、本県からは石本専務理事が出席しました。

会議では、中央労福協より「2025年度活動報告」および「2026年度年間スケジュール」等の説明を受け、安心して働き暮らせる社会の実現に向け、各種取り組みを推進していくことを全体で意思統一しました。

続く講演では、以下の2名の講師による活動事例等の紹介が行われました。

1、「子どもが安心・安全に育まれるために」(社会福祉法人二葉保育園・二葉乳児院 院長 長田順子 氏) 里親制度の現状と課題について、専門的な見地から解説をいただきました。

2、「支え合い、助け合う地域共生社会づくりに向けて～ナルクの紹介とお願い～」(NPO法人ニッポン・アク

ティブライフ・クラブ (NALC) 理事長 野中孝泰 氏) 時間預託制度を活用した、会員相互の助け合い活動の先進的な事例について報告がありました。

その後、グループワークを実施し、「全国福祉強化キャンペーン活動」の総括などについて、活発な意見交換を行いました。



東部ブロック 第250回 幹事会報告

3月16日(月)、東部ブロック労福協第250回幹事会が宇都宮市において、18名の参加で開催されました。



東部ブロック林会長の挨拶の後、中央労福協・佐保事務局長から当面の取り組みについての説明がされました。

協議事項では、①2026年度の日程、②第17期福祉リーダー塾について、③その他諸会議の内容について協議しました。各県報告においては、創意工夫して労福協活動の推進に向け活動が行われている実践報告がありました。

新潟県労福協からは、県知事要請、勤労者駅伝大会、高校奨学金の「もう一つの奨学金説明会」の取り組みなどの報告を行いました。

第10回 地区労福協事務局長会議

3月25日(水) 第10回地区労福協事務局長会議を勤労福祉会館で開催しました。

会議では、①新潟県ライフサポートセンター事業の取り組み状況の報告、②各地区の2025年度の活動報告、③2026年度の活動予定についての意見交換を行いました。

各地区とも参加者や地域の役に立つ内容をめざして、創意工夫を凝らしたワーク&ライフセミナーが開催され、地域のNPOや市民団体との連携を意識しての取り組みなども報告され、地区労福協による地域に根差した

活動を今後も強化していくことを参加者全員で確認しました。



日本難病・疾病団体協議会 (JPA) 国会請願署名活動報告

【19,145筆集約】

県労福協は、すべての人間の尊厳が何よりも大切にされる社会の実現に向け、患者とその家族への支援として、2026年の難病国会請願署名活動に協力することとしました。取り組み5年目となった署名活動は、3月31日現在、

19,145筆を集約することができました。(昨年、10,218筆) 全国38万筆超のうち新潟県労福協で2万筆弱の署名をいただき、改めて新潟の助け合う気持ちの強さと取り組みの定着を感じています。関係各位の協力に深く感謝申し上げます。要請事項が早期に解決できるよう、今後もJPAと連携して活動を進めます。

2025年度調査・研究報告書を発刊しました あしたへ — 地域社会の維持に向けた我々の役割

県労福協では毎年新潟県から助成を受けて調査・研究事業を行っています。

2025年度は「限界集落や消滅自治体、地域社会の維持」に関する調査・研究(人口減少が進む新潟県、地域社会の維持と民主団体の役割を考える)として、地域社会の活力維持に向けた我々の役割を考える報告書を公益社団法人新潟県自治研究センターに委託をしました。

県内では人口減少と急激な高齢化により、地域経済の停滞や活力の低下が深刻な課題となっています。本報告書では、持続可能な地域社会に向けた政策提言や、私たちの役割についての考察をまとめています。

新潟県労福協のホームページから閲覧可能ですので、ぜひ活動の参考にしていただきたいと思います。

「ろうきん財団高校奨学金事業拡充に係る寄付募集活動」 2025年度取組結果 (2026年1月31日現在)

寄付をいただいた団体数

99 団体

継続支援型寄付の年間寄付金額と随時支援型寄付金額の合計

5,848,253 円

3年間の給付財源を確保できる奨学生の数

16 (16.24) 人

皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

寄付募集活動は2026年度も継続して行いますので、引き続きご協力をよろしくお願いたします。

新潟県労働者福祉協議会・新潟ろうきん福祉財団

第97回 新潟県中央メーデー

日時 4月25日(土) 14:00～ **会場** 万代島多目的広場 (大かま)

参加をお待ちしています!

地区労福協からのたより



長岡地区

ながおかワーク&ライフセミナー メイン講座 開催報告

テーマ：「いま必要なのは つながる社会」

長岡地区では3月20日(金・祝日)にアトリウム長岡を会場に69名の参加者によりワーク&ライフセミナーのメイン講座を開催しました。

第1部：基調講演

講師：ジャーナリスト 工藤 律子 氏 演題：『働くことの小さな革命 ルポ日本の「社会的連帯経済」』

スペインと日本における「社会的連帯経済」の実例が紹介されました。スペインの事例では、映像制作や陶芸による遺跡出土品の再現など、多様な分野で「労働者協同組合」が活躍している現状や、教育課程の中で「連帯経済」の概念が組み込まれていることなどが紹介されました。

また、日本の事例として、長野県麻績村の地域コミュニティ支援団体「わくわくの村」による「じかんぎんこう」の取り組みが紹介されました。「じかんぎんこう(時間銀行)」は、誰もが平等に持つ「時間」を交換し、支え合いを楽しむ仕組みです。貨幣経済だけに依存せず、世代を超えた交流や助け合いを通じて、人と人との繋がりで暮らしを豊かにすることを大切に活動報告に、多くの参加者が耳を傾けていました。

※**社会的連帯経済とは** 競争による利潤追求と経済成長を最優先する既存の資本主義経済に対し、人の暮らしと環境を軸に、誰もが安心して暮らせる持続可能な社会を築くことを目的とした経済活動のあり方です。

第2部：パネルトーク(地元実践者3名による報告)

■ 親子のふれあい教室ぽっぽ 代表 齊藤 春菜 氏
既存の支援体制では、妊娠期から育児期への「継

続的な繋がり」が不足しており、その都度相談先を探さなければならないという課題を指摘。「単発(スポット)の支援ではなく、母を支え、母たちが繋がり続けられる場所が必要」との思いから、教室の運営や子育て世代が主体となる「青空ママフェス」を主催するなど、一歩踏み込んだサポート体制の構築について報告されました。

■ 労働者協同組合あきは 代表理事 齋藤 敏明 氏

2024年秋の地域行事での対話をきっかけに、2025年9月、新潟市秋葉区金沢町の住民26名で設立。「資格がなくてもできる、地域での“お節介”」を活動の核とし、退職者を中心としたメンバーが、生活支援や高齢者への寄り添いなど、労働者協同組合という枠組みを活かして地域課題の解決に取り組む姿が紹介されました。

■ 株式会社丸共 代表取締役社長 金内 宏彰 氏

ゴミの収集運搬・処分・リサイクル業を営む傍ら、産学官の連携による循環型農業を展開。一般家庭から回収した枝葉を燃料として活用し、発生した温水や電気を植物工場(バジル栽培)に利用する取り組みを通じて、環境と経済を両立させる先進的なビジネスモデルについてお話しいただきました。

総括・所感

地域コミュニティの希薄化が課題となる現代において、業種や事業形態の枠にとらわれず、多角的な視点で社会課題の解決を目指す重要性を再認識しました。それぞれの組織が抱える「壁」を取り除き、対話と交流を重ねることが、より良い社会を築くための第一歩になると強く感じられるセミナーとなりました。



上越地区

2026年新春交歓会

新年、1月6日(火) ホテルハイマートにおいて、上越地区労福協主催の「2026年新春交歓会」をご来賓20名を含め、139名の参加を頂き、盛況に開催しました。

ご来賓より、牧野理事長、梅谷衆議院議員、小田上越副市長、城戸妙高市長、本山上越商工会議所副会頭より新春のご挨拶を頂きました。その後、鏡開

きを行い、連合新潟桑原事務局長の乾杯で祝宴が始まりました。労働組合・労働金庫・こくみん共済coop・退職者連合はもとより、各級議員や行政関係者、地元NPO団体の皆様との交流を深めながら、新春の集いを終えました。

当日は、「日本難病・疾病団体協議会の国会請願」への署名活動呼び掛け、多くの皆様からご協力を頂きました。



新潟地区

2026新春の集いを盛大に開催



2026年1月29日(木) 18時30分より新潟東映ホテルにおいて、「2026年 新潟地区労福協 新春の集い」を開催しました。

総勢140名の参加のもと盛大に開催することができました。会には、新潟県労福協の牧野理事長・連合新潟の小林会長並びに新潟市より中原市長をはじめ、多数のご来賓の皆さまからご臨席をいただきました。

途中のアトラクションでは、「ナマラエンターテインメント」による音楽ステージを鑑賞していただきました。各世代のヒット曲を迫力のある歌声と楽器で演奏していただき、大人の雰囲気会場を包みました。

宴会では互いに活発な交流が図られ、楽しく有意義な会となりました。

新潟市中原市長へ要請行動実施

新潟地区労福協では、2月3日(火) 13時30分より新潟市役所本庁において、新潟市中原市長に対して労働者福祉に関する要請行動を行いました。丸山会長より「すべての働く人の幸せと豊かさを目指して連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」の実現を目指す労福協の取り組み方針に理解をいただき対応願いたいとの挨拶がなされ、続いて大岩事務局長より、①東日本大震災・能登半島地震の被災者・避難者支援および防災・減災対策の強化について②格差貧困社会の是正・セーフティネットの強化について③奨学金制度の拡充・改善と教育費の負担軽減について④フードバンク活動の促進について⑤労働者協同組合法の施行の運用について⑥困難な問題を抱える女性への支援に関する法律の施行に伴う対応について⑦介護福祉政策についての全7項目について説明され、要請書を中原市長へ提出しました。



お金・くらしのこと、家族のこと、
職場・仕事のこと・・・など



相談は
原則無料

秘密
厳守

ひとりで悩まないで！お気軽にご相談を！

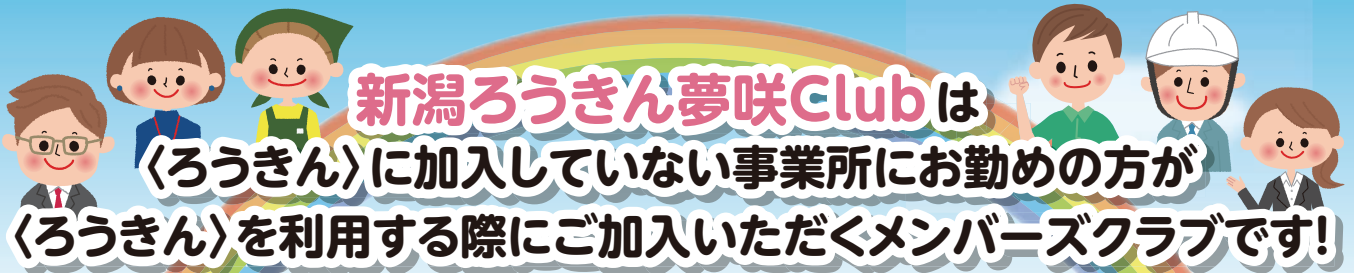
新潟県ライフサポートセンター

新潟県LSC

検索



☎ 0258-86-8898【受付】平日(祝日除く) 10:00~16:00



ご入会 新潟ろうきんの県内26店舗で入会手続きができます。
 加入申込書は新潟ろうきんの全店舗に備え付けてあります。*入会金や会費は必要ありません

**ご加入
 いただける方** 新潟ろうきんとお取引がある、あるいはお取引を予定されている方で、
 以下のいずれかの加入条件を満たす15歳以上の方となります。

- 1 新潟県内に居住または勤務する勤労者の方など
- 2 将来、新潟県内に居住または勤務する予定のある方

**おもな活動と
 会員サービス**

- 会報誌「夢咲Club通信」の発行
- 暮らしに役立つイベントなどの開催
- 安心の無料相談ネットワーク(弁護士無料法律相談、健康ダイヤルなど)

ご加入は最寄りのろうきん本支店窓口へ。お問い合わせは新潟ろうきん夢咲Clubまで。

新潟ろうきん夢咲Club

〒951-8113 新潟市中央区寄居町332番地38 新潟県労働金庫本店5階
 TEL 025-201-8765 FAX 025-201-8755
<https://www.n-yume.jp>

ろうきん マイカーローン 金利引下げキャンペーン

実施期間 2026年2/16(月)~2026年12/30(水)

保証料
 申込手数料

0円
(ろうきん
 負担)



誰でも対象! 期間限定で!

0.3%

金利引下げ!

キャンペーンの
 詳細はコチラから!



まずはコチラから!

ネットカンタン仮申込

本申込ではありませんので、
 審査結果ご連絡後の
 キャンセルもOK!
 お気軽にご利用ください。





コープデリにいがた

ビジョン 2035

食べるしあわせ、自分らしい暮らし 「ともに」の力で、笑顔の明日を

私たちは、助け合いの心と協同の力が生みだす
「ともに」の力で未来をきりひらき、
誰ひとり取り残さない社会を創ります



コープデリにいがたの宅配事業

「つかうほど、じぶんらしく。」をブランドメッセージに、
コープデリ宅配は一人ひとりの毎日にたくさんのおいしさをお届けします。

くらしの助け合いの会

家事援助を中心として困ったときに、お互いのくらしを支え合い、助け合う有償の組合員活動です。*新潟市中心に活動しています。



ウイークリーコープ

週1回決まった曜日・時間帯にご自宅の玄関先まで、6,000品目以上の取扱アイテムから、ご注文いただいた食品や日用品をお届けする宅配サービスです。

夕食宅配

管理栄養士が監修した夕食用のお弁当を月曜から金曜の週3日から5日までお届けします。
*お届け地域限定サービスです。



お問い合わせ

生活協同組合コープデリにいがた 総合企画室

〒950-1125 新潟市西区流通1丁目5番地3

TEL 025-260-3351 (月～金 9:00～17:30)

コープデリにいがた
ホームページ→

<https://niigata.coopdeli.coop/>



労働安全衛生法等が 改正されました

～働きやすい環境づくりを進めよう!～

!!! こだわろう! 暮らしの向上
ひろげよう! 仲間の輪



法改正のポイント

改正労働安全衛生法等には、多様な人材が安全に、かつ安心して働き続けられる職場環境の整備を推進するため、メンタルヘルス対策の強化や高齢労働者の労働災害防止、治療と仕事の両立支援の推進などが盛り込まれました。



※お問い合わせ先

労働安全衛生法

- 職場のメンタルヘルス対策の推進 施行日:2028年5月までに
ストレスチェックの実施義務をすべての事業場に拡大
- 高齢者の労働災害防止の推進 施行日:2026年4月1日
高齢労働者の労働災害防止をはかるために
必要な措置の努力義務化

労働施策総合推進法*

*労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律

● 治療と仕事の両立支援の推進

施行日:2026年4月1日

職場における治療と仕事の両立を促進するために
必要な措置の努力義務化

日本労働組合総連合会新潟県連合会 (連合新潟)



0120-154-052

いこうよ れんごうに

スマホ
携帯OK

<http://www.jtuc-rengo.jp/niigata/>

連合新潟



はたらくのそばで、
ともに歩む

今後の日程

4月	16日(木)	消費生活ネットワーク理事会 (coop会館)
	22日(水)	こくみん共済coop新潟推進本部代表委員会 (coop会館)
	23日(木)	新潟市PS第1回支援調整会議 (勤労福祉会館)
	25日(土)	第97回新潟県中央メーデー (新潟市中央区)
	28日(火)	中央労福協幹事会 (Web) 中央労福協Web学習会 (Web)
5月	12日(火)	新潟県労福協第39回チャリティーゴルフ大会 (フォレストカントリー倶楽部)
	18日(月)	監事監査 (勤労福祉会館)
	28日(木)	新潟市PS第2回支援調整会議 (勤労福祉会館)
	29日(金)	新潟県労福協第156回理事会 (勤労福祉会館)
	6月	2日(火)~3日(水)
10日(水)~11日(木)		東部ブロック福祉リーダー塾 (静岡県三島市)
18日(木)		第2回地方労福協会議 (Web)
19日(金)		新潟県労福協第49回定時総会 (新潟東映ホテル) 新潟県労福協第157回理事会 (新潟東映ホテル)
25日(木)		新潟県労働金庫第74回通常総会 新潟市PS第3回支援調整会議 (勤労福祉会館)

編集後記

先日、ひきこもりや社会的孤立にある人たちを支援する「新潟ねっと」代表理事・村山 賢氏の講演を聞いた。新潟県内におけるひきこもりの推測値は2万1,797人、生産年齢人口の1.91%、「42世帯に1人」はひきこもり状態の人がいることになる。全国的にも、毎年数万人単位で増加する一方で、リカバリーに至るケースは数千人程度にとどまるという。労福協のライフサポートセンターの相談窓口でも、継続して支援を行っている事例が複数ある。先日は、長岡地区が主催したワーク&ライフセミナーでもこの問題をテーマに掲げた。ひきこもり支援は極めてシビアな活動だ。結果が出るまでには膨大な時間を要し、家族の覚悟はもちろん、地域社会に根強く残る偏見や無理解という高い壁にも立ち向かわなければならぬ。

私たちがめざしている社会的排除のない社会の実現のためには、ひきこもりや生活困窮の問題から目を背けることはできない。労福協の活動の柱として、今後も諸団体との連携を一層強化し、粘り強く取り組んでいきたい。

(新光町の疾風怒涛)

マイカー共済

自動車総合補償共済

暮らしを応援!

くるまの
補償点検

キャンペーン

公式キャラクター
ピットくん



2026年
2/1日▶
4/30日

期間中に共済ショップまたは所属団体を通じて

マイカー共済に新規加入された方へ

クレラップ
プレゼント!



マイカー共済のお見積もりをいただいた方へ

ピットくんエコ手ぶくる
プレゼント!



※画像はイメージです。
※在庫状況によっては、他のノベルティをお渡しする場合がございます。